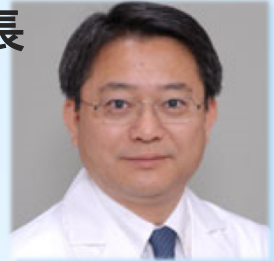


高知医療再生機構講演会

～DCセミナー～

「進行がん患者と向き合う： コミュニケーション・スキルの活用」

国立研究開発法人国立がん研究センター
中央病院支持療法開発センター部門長・精神腫瘍科医長
社会と健康研究センター副センター長



内富 庸介 先生

日時：2018年7月3日(火)午後6時半～8時半

場所：高知大学医学部臨床講義棟第3講義室

がん患者は、がん診療のめざましい進歩の恩恵を受ける一方で、つらい検査や治療と向き合う時間が長くなった。がん治療の転帰に影響するので、患者と医療者のコミュニケーションの果たす役割が注目されている。

今回講師の内富氏は、がん診療に携わる医療者のコミュニケーション・スキルの習得を目的とした研修を行うことによって、がん診療の質や患者・家族のQOLを改善しようと多くの研究と実践を行ってこられた日本の第一人者である。今回その背景にある、がん患者や家族への温かい想いと情熱とともに、これまでの長年の臨床経験から、実際に医療者にとって明日から役立つ知識や技術についてご講演を頂く予定である。

講師プロフィール：

1984年3月 広島大学医学部 卒業

1991年3月～5月 米国スロンケタリングがんセンター記念病院 精神科 研修

1993年10月～ 広島大学医学部 神経精神医学教室 講師

1996年4月～ 国立がんセンター研究所支所 精神腫瘍学研究部 部長

2010年4月～ 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学教室 教授

2015年1月～ 国立研究開発法人国立がん研究センター支持療法開発センター部門長

2017年5月～ 現職

【問い合わせ先】 高知大学医学部神経精神科学教室 Tel：088-880-2359